

授業科目名	【G】 【EF】	教養演習 I・II 教養演習 I・II	区分 選択必修	開講年次	【G】2 【EF】2	単位数	【G】2 【EF】2
科目区分	基本科目						
授業形態	対面授業						
担当形態	単 独	【G】 【EF】					
施行規則に定める科目区分又は事項等							
サブタイトル	情報系の検定試験を通じて学ぶ			担当者	谷津 貴久		
授業概要	【概要】	技能系・知識系を問わず、ICT関連の検定試験は数多くあります。それらの試験は過去問題・模擬問題を公開していることが多く、学習に活用することができます。 この演習では、各種情報処理系検定試験の過去問題・模擬問題に取り組むことにより、ICT技能・知識の定着を図ります。					
	【到達目標】	各種情報系検定試験の過去問題・模擬問題で合格点を取れるようになることが目標です。					
履修条件	「情報リテラシー」の単位を修得済みであることが望ましい。						
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP (ディプロマ・ポリシー) ①	— (当てはまらない)					
	DP (ディプロマ・ポリシー) ②	◎ (よく当てはまる)					
	DP (ディプロマ・ポリシー) ③	○ (やや当てはまる)					
他科目との関連性	「情報リテラシー」で扱う内容は修得済みであることを前提とした授業を行います。						
教科書	取り組むべき検定試験と関連資料を授業内で提示します。						
参考書	1年次の「情報リテラシー」での教科書を活用してください。						
評価方法	取り組んだ過去問題・模擬問題の最終的な到達度(70%)と演習への参加態度(30%)で評価します。						
フィードバック方法	提出した課題に対して個別にコメントをつけ、全員に対する解説を行います。						
評価基準	上記評価方法に従い、参加態度が良好で演習内容について到達目標に達することができた人にはその程度に応じてSまたはA、一部不十分な参加態度や到達度がある人については、その程度に応じてBまたはCとします。それらが著しく低い場合には、その程度に応じてDまたはEとします。評価不能の場合はFとします。ただしE・FカリキュラムにはSとFの評価区分がありません。						
その他	特になし ※Gカリ:【Iは選択必修(A)・IIは選択必修(B)】 / EFカリ:選択必修(y)						

授業 科目名	【G】 教養演習Ⅰ・Ⅱ	区 分	開講年次	【G】2	単位数	【G】2
	【EF】 教養演習Ⅰ・Ⅱ	選 択 必 修		【EF】2		【EF】2
授業内容	<p>インターネットで公開されている情報系検定試験の過去問題・模擬試験問題を活用します。</p> <p>内容としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>ワードプロセッサによる基本的な文書作成 <input type="checkbox"/>ワードプロセッサによるビジネス文書作成 <input type="checkbox"/>表計算による基本的な計算 <input type="checkbox"/>表計算によるビジネス対応の計算・作表 <input type="checkbox"/>プレゼンテーション資料作成 <input type="checkbox"/>情報通信技術の基礎知識 <input type="checkbox"/>情報セキュリティの基礎知識 <p>を網羅します。</p> <p>技能系・知識系それぞれの検定試験模擬問題に取り組むことで、各自が現時点でできないこと、理解していないことを知ります。その部分を集中的に学習してできるようになる、あるいは理解することで、ICT活用の技能・知識両面での能力向上を図ります。</p>					
予習内容	<p>知識問題は問題文をよく読んでおくこと、技能問題は自分で試してみることを求めます(60分程度)。</p>					
復習内容	<p>知識問題は間違えた箇所・知らなかった箇所の理解を深めること、技能問題はその日の内容を独りで再現してみることを求めます(120分程度)</p>					